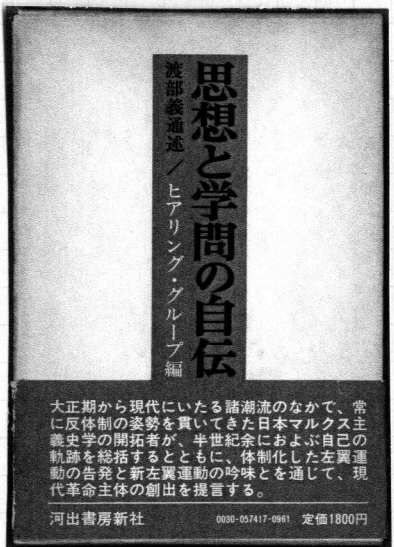


渡部義通 わたべよしとみ 日本古代史家。明治二十四年七月十五日福島縣南會津郡伊南村生れ（一九二一）。筆名守田守、山部六郎。大正六年福島師範學校入學も、政治論文を地方新聞に投稿した縁で除籍処分。九年日本社會主義同盟加盟、翌年上京して明治大學入學、十四年病を獲り歸省、療養生活の傍ら縣内の勞働組合等の活動。昭和二年再上京し日本共産黨に入黨、翌年檢舉、四年病状悪化で執行停止出所。八年唯物論研究會の關與。その後早川二郎、伊豆公夫、藤間生夫、石母田正等と古代及び中世史の共同研究に従事。十五年黨再建の一員として檢舉、十九年出所して郷里に疎開。二十一年民主主義科學生協會幹事長兼書記長就任、二十四年衆議院議員、二十二年社會主義政治經濟研究所設立、翌年黨批判を以て除名。

著書に、『日本母系時代の研究』（昭和七年一月十七日白揚社）、『日本原始社會史』（昭和九年九月十日白揚社）、『知識人の探求―新らしい立場と方向』（合著、昭和二十四年七月二十日河出書房）、『思想と學問の自由』（ヒヤリングズ・グループ編、昭和四十九年九月十日河出書房新社）等。



思想と學問の自由

渡部義通述／ヒヤリンググループ編

大正期から現代にいたる諸潮流のなかで、常に反体制の姿勢を貫いてきた日本マルクス主義史学の開拓者が、半世紀余におよぶ自己の軌跡を総括するとともに、体制化した左翼運動の告発と新左翼運動の吟味とを通じて、現代革命主体の創出を提言する。

河出書房新社

0030-027417-0961 定価1800円